

デンマークの就学前教育制度

齋 藤 修

はじめに

保育所や幼稚園は遊びを中心とした生活を通して好奇心を育てたり人間関係を学ぶ。一方、小学校は時間単位の授業で教科ごとに知識や技能を習得する。この学び方の違いに子どもが戸惑いを感じ、小学校に入学してから落ち着いて学習できないなどの問題につながるケースがある。そのため保幼・小の学びの接続を緩やかにしようという試みも行われている。岩手県内でも園舎と校舎が隣接する立地条件を生かして、年長児と1年生が年3回の交流を行ったほか、園児が小学生の活動を見る機会を設けたり、幼小の教員が話し合って交流の年間計画を策定している。そして徐々に小学校の雰囲気慣れさせ、3学期には体験授業を行った。^{#1}しかし園児と児童が行事などで交流する例は多いが、交流活動をカリキュラムの中に位置付けているところは少ない。しかしデンマークではこの幼稚園と小学校の連携を円滑にするために、5歳ないし6歳児を対象としてPRE-SCHOOL CLASS (幼稚園学級)を設けている。本稿ではこの幼稚園学級を中心にデンマークの教育制度について考察する。

1 教育制度

デンマークは北海に突き出たユトランド半島と、大小500の島で構成され、九州ほどの面積に約540万人が暮らす小さな国である。

デンマークの教育制度は表1に記されているように、大別すると就学前教育、初等・前期中等教育(義務教育)、中等教育、高等教育からなる。就学前の教育機関としては、保育ママ・保育所(生後6カ月～3歳に達するまで)、幼稚園(3歳～5ないし6歳に達するまで)と5ないし6歳児を対象とする幼稚園学級(以下、0年生)がある。義務教育は1年生(7歳)から9年生(16

歳)までの「国民学校」で行われる。国民学校は7年生まで試験がなく、8年生で初めて点数による評価が行われる。そして義務教育の最終年である9年生で、全生徒は全国統一の「国民学校卒業試験」(The Folkeskolens Leaving Examination)を受けなければならない。義務教育期間を終えても、まだ学力が不十分と考える生徒は10年生として国民学校に留まる。10年生のクラスに参加する判断は、卒業試験の結果などを参考に保護者・担任・生徒本人の三者面談で話し合い、生徒自身が決める。10年生への在籍率は約61%である(2003年度)。義務教育の9年間、生徒は同じクラス担任の下で学習指導を受ける。

義務教育終了後、大学などの高等教育へ進みたい生徒は「ギムナジウム(普通高校)」または社会人を対象とした「高等教育準備試験コース」に進む。サラリーマンや技術職を希望する生徒は、「商業学校」や「技術学校」へ進む。大学などの高等教育機関は修業年限で、長期、中期、短期に大別され、卒業時の年齢は20代後半となるのが一般的である。

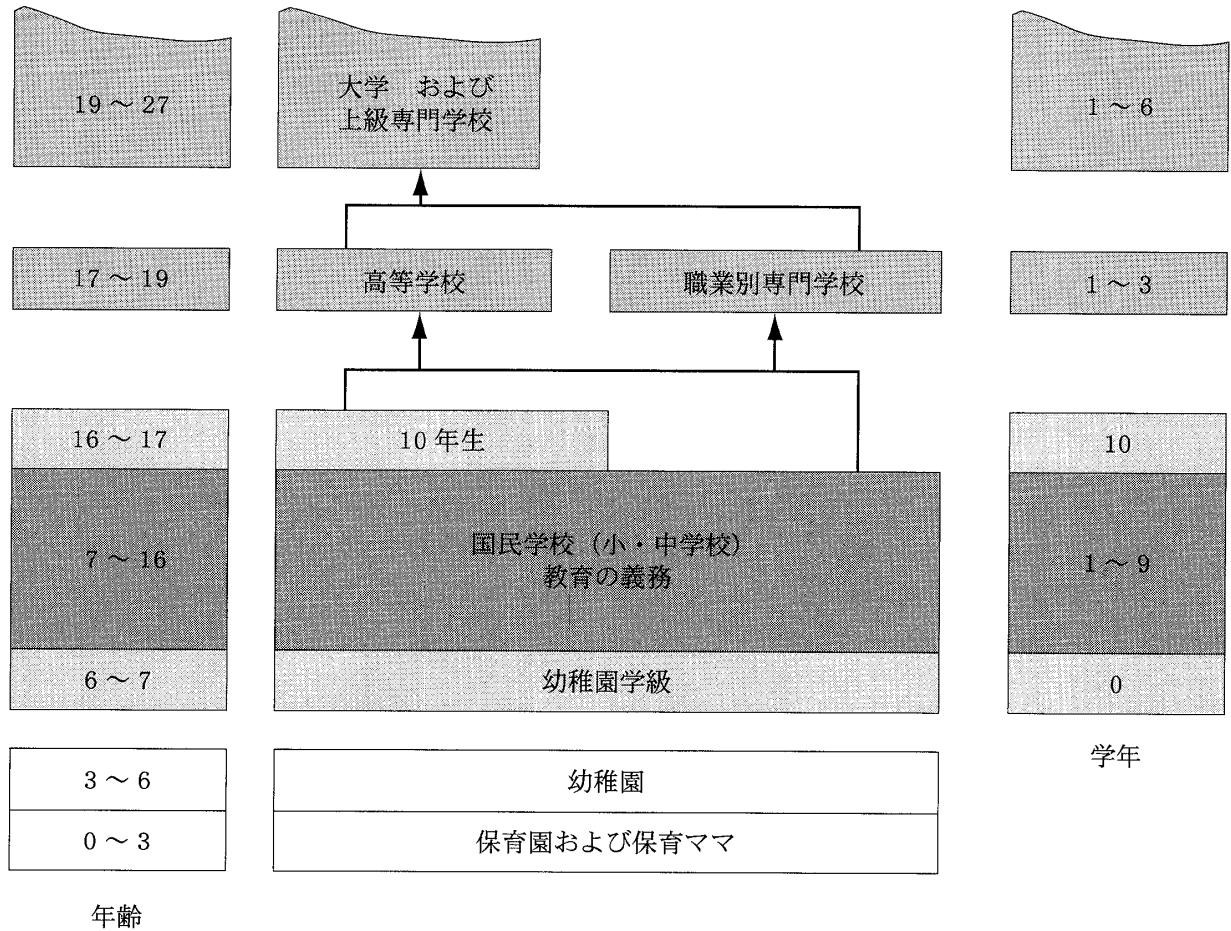
国民学校は、公立学校が88%、私立学校が11%、自宅での就学が約1%である。デンマークでは子どもが登校拒否などで学校への通学を望まない場合では、親などによる学習指導が確保されることによって自宅での学習を認めている。また0年生から大学までの教育費は無料で、その費用は国と地方自治体から支出される。

教育省は「国民学校法」(The Folkeskole Act)で包括的な教育目標を定めている。以下に「国民学校法」を挙げる。

「国民学校法」第1条

- 1、国民学校は、保護者と協力して生徒個々人の全人的な発達を促すため、生徒の知識、技能、学習方法、表現力を高めることを目的とする。
- 2、国民学校は、経験や実践活動で理解を深める機会を設け、生徒の自覚、創造、学習意欲を

表1 デンマークの教育制度



出所: 「Dansk Japansk Folkehojskole Bogense」より提供

涵養させることにより生徒自身の可能性や自分で判断し対処できる力を付ける。

3、国民学校は、生徒にデンマーク文化を熟知させるとともに異文化や人間を取り巻く自然への理解を深めるように努める。そのために学校教育と日常生活での教育の基本は、精神的自由、人間としての平等そして民主主義の理念に基づく。

出所: 「Dansk Japansk Folkehojskole Bogense」より提供

2 0年生

(1) 教育目標

0年生は義務教育ではなく、6歳から親の希望によって入学する。5歳から入学することもできるが、1クラスに1ないし2名と少数である。また子どもの成長度合によっては、親あるいは

先生の意見によってさらに1年間0年生に在学することもできる。6歳での入学率は99%(2005年度)を占める。1クラスの定員は28人であるが、一般的には20人前後である。尚、2008年度から0年生も義務化される予定である。

0年生での教育目標は次の6項目からなる。

- 1) 言葉と表現方法
- 2) 自然との触れ合いと自然現象の理解
- 3) 音楽
- 4) 遊びと運動
- 5) 社会性の熟練
 - ① 授業や遊びを通して友達や大人との人間関係について学ぶ
 - ② 子供と規則についての取り決めを持ち、どのように守るべきなのかを学ぶ
 - ③ 子供に掃除や整理などの仕事を引き受けさせ、責任を学ばせる
- 6) 話し合いと共同作業

- ① 単独や複数またグループによる作業を通し、異なる組織や共同作業の形態があることを学ぶ
- ② 子供が興味を抱いて掘り下げていくためのきっかけを与える。こうして子供たちがイニシアチブを取ってさまざまな可能性から選択することを学ぶ。

0年生での教育は、「遊び」を中心として自然への理解を高め、運動や音楽も遊び的要素をからめて活動を展開している。また集団活動や社会性を高めるために、自分の意見を述べると同時に他人の意見をも尊重することを目標としている。

0年生は、1年生に入学してからの学校生活に慣れるための準備期間でもある。そのために遊びや多様な活動を通して「椅子に座る。集中する。言葉を変えて話す(retell)。自分の体験したことを発表する。相手の話を聞き、お互いに話し合う。」などを身に付け、そして時間割に基づく学校生活に慣れることである。

(2) 教育プログラム

タイムテーブルは月曜から金曜日まで、年間40週である。毎日8時ないし8時15分から始まり、遅くとも午後2時には終了する。その後、子どもたちは同敷地内にある学童クラブへ行き、4時まで過ごす。学年始めは8月の第2週から始まり、学年末は6月の最後の金曜日である。そして夏休みに入る。

0年生には決められた指導方法や教材といったものはなく、教員が授業内容や教材を自由に



写真1

表2 0年生の時間割

	mandag	tirsdag	onsdag	torsdag	fredag
8:15	SAMLING	SAMLING	MORGENSANG	SAMLING	Idræt
9:15	HOP OMBORD LYD OG ORD	DANSK	U D E A G	HOP OMBORD LYD OG ORD	Idræt
10:15	Frokost	Frokost	OA OB	Frokost	Frokost
11:15	Leg	Leg		Musik	Bibliotek
12:15	MATEMATIK	MATEMATIK LÆSEVEN		LEG/SPIG	FÆLLES OPGAVER LEG
13:15					

ONSDAG - UDEDAG : HUSK RYGSÆK OG DRIKKEDUNK / MADKASSE.

FREDAG : HUSK GYMNASTIKTØJ / BIBLIOTEKS-BØGER.

出所：「Munkebjergskolen の0年生クラス」より提供

選択する。私が最初に訪問した「Munkebjergskolen in Bogense」(2007.3.27)では、イースターの1週間前は特別プログラムで0・1・2年生の合同授業が行われていた。テーマによって4つの教室に分かれ、どの教室に入るかは子どもたちが決める。私が見学した教室(26名)は「水」をテーマとして、4つのテーブルに分かれ、それぞれの課題に取り組んでいた。そして20分位でテーブルを交代し次の課題に取り組むことによって子どもたちが飽きない工夫をしていた。2名の教員と自閉症の子どもが1名いるため1名の補助教員(社会教育指導員)が付き、3名の態勢で進めていた。(写真1)表2は0年生の時間割で、通常はこの時間割で行う。

月曜日の「SAMLING (集会)」は朝の連絡、「Hop ombord (飛び上がる)」は音楽を聴きながら身体を動かす。「Lyd og ord (リスニングと言葉)」はリスニングをしながら言葉を覚える。「Lege (遊び)」「MATEMATIK (算数)」。火曜日の「LASEVEN (読書友達)」は子どもたちがお互いに本を読み合う。水曜日の「UDEDAG (外の日)」は課外活動で各種施設を訪問する。「HUSK (忘れないように)」以下は、水曜日は課外活動の日のため、「リュックサックと飲み物と昼食を忘れないように」という連絡。金曜日の「idraet (体育)」、「FAELLES OPGAUER (共通課題)」は、他のクラスや学年をこえて一緒に活動する。金曜日の「HUSK」は、「体育と図書館を利用した授業があるため運動着と図書館へ返却する本を忘れないように」である。水曜日は、一日中課外活動の日で学外の各種施設などを訪問する。金曜日の午後は休日前として図書館で本を借りたり、図書館員による絵本や童話などの「お話し」が行われている。音楽は0年生と1年生が合同で行う。

(3) 学校歯科医

国民学校には「自治体歯科医」(通称、学校歯科医)が常駐している。対象は、18歳未満の子どもと65歳以上の高齢者である。18歳未満は完全無料であるが、65歳以上は1ヵ月35kr(約7千円)を支払うと何度治療を受けてもよい。各学校には原則として治療室が設置されているが、本格的な治療室と歯科医が常駐しているのは大きな学校である。小規模な学校には、簡単

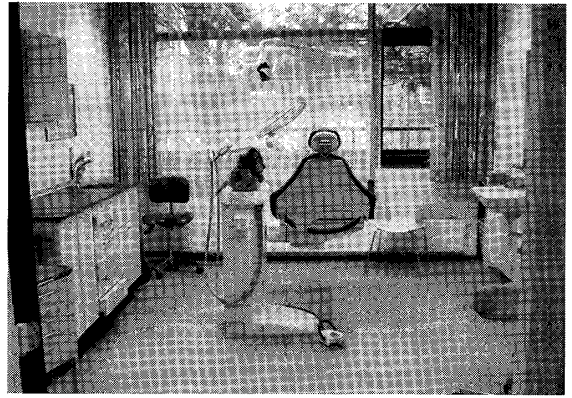


写真2

な治療室が備えられ検診時に歯科医がくる。子どもたちは18歳までに虫歯治療はもちろん、矯正もすべて終えて社会人になるのが一般的である。(写真2)

(4) 0年生と学童クラブの連携

0年生を担当する教員は、社会教育指導員である。一方、1年生以上を担当する教員は「教員有資格者」で、0年生に週2時間「国語」(デンマーク語)を指導する。それは国語の初歩的なレベルとくに発音などが中心である。また学童クラブの社会教育指導員が、0年生から3年生の各クラスにそれぞれ週5時間補助教員として加わる。

2007年8月から2年間の試行として、0年生から2年生は12時20分～14時まで授業の一環として学童クラブで活動することになった。低学年担当の教員と学童クラブの社会教育指導員3名で担当する。しかし家庭の事情などでサポートの必要な生徒には、教員が教室で宿題などの学習を指導する。また年齢に比して体力が



写真3

表3 履習プログラム

The programme is of 41 months' duration, (approximately 3 ½ years, total 210 ECTS^{#2}).

At most colleges, the structure is as follows:

1st year	Study at the college	12-week practice placement (14 ECTS)	Study at the college
2nd year	26-week practice placement (30 ECTS)	Study at the college	
3rd year	Study at the college	26-week practice placement (30 ECTS)	
4th year	Study at the college (10-week Bachelor Project, 12 ECTS)	Examinations	Most colleges have 2 entries per year, 1st February and 1st September.

出所: The International Committee of the Rectors' Conference 「The Danish Social Educator Programme」 INCORE 2007

まだ発達していない生徒には体育教員が体育館で指導する。その他の特別な指導を必要としない生徒は、絵や遊びや食事作りの手伝い (14 時に生徒に軽食を提供する) などの活動をする。14 時に全生徒が再び学童クラブに集合して活動内容を発表し (写真 3)、食事後帰宅する生徒とそのまま 16 時まで学童クラブで過ごす生徒に分かれる。今回再訪した学童クラブ (2008. 2. 27) では、1 年生 (月・水)、0・2 年生 (火・木)、0・1 年生 (金) での活動日程であった。(但し、このプログラムの試行は Bogense 地区の自治体における独自の試みである。)

3 社会教育指導員 (Social Educator)

社会教育指導員は専門大学 (3 年 6 カ月) で資格を取得後、保育所、幼稚園、学童クラブ、刑務所などに勤務することができる。

社会教育指導員養成大学での、教育目標は次の 4 項目からなる。

- 1) 子ども、10 代の若者や大人 (特別支援を必要とする子ども、若者や大人を含む) にたいする社会教育活動のための理論と実践的技術を習得する。
- 2) 非デンマーク語圏や文化的背景の異なる人々との会話や文化的理解を促進するための技術を習得する。
- 3) 同僚や他の専門分野の人たちとの連携を含めて、協調や連携を図る能力・技術を習得する。
- 4) 社会教育分野における調査・開発を含め

表4 履修科目割合と単位

WEIGHTING OF THE SUBJECTS	STUDY PROGRAMME	ECTS TOTAL
30%	Social education studies and psychology	37
20%	Social studies and health studies	25
40%	The Arts and activity subjects: Danish/media, music, movement and P.E., art and crafts, drama, environmental studies plus other activities as stipulated in the curriculum	50
10%	Communication, organisation and management	12
	BA-dissertation	12
	Practice placement	74
100%	TOTAL	210

出所: 「前掲書」 INCORE 2007

て、教育的指導力の向上と新手法の開発に貢献するための基礎を習得する。

この資格を取得するためには、3 年間に 64 週間に及ぶ実習を行わなければならない。(表 3)

また履修科目としては、社会教育学、心理学、社会学などでとくに音楽、アクティビティ、絵画制作、演劇など実践的科目が 40% を占める。(表 4)

終りに

デンマークの幼稚園では、読み書きを教えることはなく、自然に触れて遊ぶことや、遊びを通して友達と仲良くする力を養うことを目的としている。また0年生でも遊びを重視しているが、「遊びから学びへの移行の時期」と位置づけられているので、長い間じっとしていることや人の話に静かに耳を傾けることができるようにするための指導が行われている。

0年生と1年生の交流、教員間の交流そして学童クラブでの教員と学童スタッフとの連携は、いわゆる「小1プロブレム」の解決に非常に有効な方法である。

またデンマークの教育は少人数クラスで、一人ひとりの発達に合わせた指導が行われている。そして年齢による学年にとらわれることなく、遅れることが社会的にもマイナスとはみなされない。そのため子どもたちは余裕をもって学校生活を過ごしている。

しかし、フィンランドがOECDの学習到達度調査(PISA)^{※3}で1位を維持しているのに対し、デンマークは低下したため政治家を中心に幼稚園から読み書き、計算などの学力的指導も導入すべきという意見が強くなってきている。この意見にたいして現場の先生方は一様に反対している。

注1: 岩手県立総合教育センターは、「幼小連携」の取り

組みとして、2005・2006年度に花巻市の花巻幼稚園と花巻小学校、盛岡市の米内幼稚園と米内小学校を協力校に「幼小連携のカリキュラム作りに関する研究」を行った。

注2: 「ECTS」(European Credit Transfer System)は、欧州単位互換制度でEU諸国の大学に共通の単位を導入して大学の学位均一化を図る制度である。

注3: 「PISA」(Program for International Student Assessment)は、OECD加盟国の多くで義務教育の修了段階にある15歳の生徒を対象に、読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシー、問題解決を調査している。国際比較により教育方法を改善し標準化する観点から、生徒の成績を研究することを目的としている。

参考文献

- 「岩手日報」岩手日報社 2007年4月23日付け
- 「School education in Denmark」Ministry of Foreign Affairs of Denmark ホームページ 2007年11月
- 「Primary and Lower secondary education」Ministry of Foreign Affairs of Denmark ホームページ 2007年11月
- The International Committee of the Rectors' Conference 「The Danish Social Educator Programme」IN-CORE 2007
- 「The Folkeskole」Danish Ministry of Education ホームページ 2007年11月
- 「Pre-Primary Education」Danish Ministry of Education ホームページ 2007年11月

A Study on the System of Pre-primary Education in Denmark

SHU SAITO

The purpose of this study is to examine the linkages between kindergarten or day-care center and primary school. As of writing I study on the system of pre-school class (0 class) in Denmark.

The pre-school class for the 5/6-year-old forms the bridge between kindergarten/day-care activities and primary school. The Act on the Content in the「Børnehave-klass」defines certain themes that must be contained in the pre-school classes' educational plans: (1) Language and forms of expression (2) The nature and natural science phenomena (3) Music (4) Movement (5) Social skills (6) Being together and cooperation. The teaching in the pre-school classes shall as far as possible be given in the form of play and other developing activities (e.g. they are trained to sit, concentrate, remember, retell, and make drawings of what they have experienced. They are furthermore trained in social processes; listen to each other and tell stories; in movements and rhythmic; and they are prepared for learning through play). In the teaching, it is endeavored to familiarize the children with the daily routines of school life.

The pre-school class is well-organized to link with kindergarten or day-care center.